

生徒の皆さんへ

たちばなマインドを發揮しよう

令和3年5月14日

江戸川区立松江第五中学校

校長 荒巻 淳

大作戦シリーズ その10 「江戸川区の取組に貢献しよう大作戦！」

～ みんなで考えよう！目指すなら2100年 こんな江戸川区 ～

1 ねらい

- ①自分が住む江戸川区の明るい未来を考え、区の取組に応募貢献する。
- ②松江五中“たちばなマインド”を發揮し、たちばなマインド証に押印してもらう。

2 内容

【自分が考える2100年の江戸川区の「明るい未来」】を考え提出する。

3 対象

- ・松江五中に現在、在籍中の生徒
- ※たちばな隊の卒業生の後継者を若干名募集

4 担当・・・副校長

5 申込方法 下の申込書を丁寧に記入し、5月21日（金）までに担任に提出する。

※ 提出の流れ 担任→ 副校長 → 校長 → 江戸川区

6 参考資料 松五のホームページのお知らせコーナー「大作戦シリーズ その10」を参照

※江戸川区からのリーフレット資料を掲載しておきますので参考に。

.....き.....り.....と.....り.....

松江第五中学校長 宛

____年 ____組 ____番
氏名 _____

**みなさんの意見は
「(仮称)江戸川区共生社会ビジョン」に
反映します！**

求む！あなたが考える江戸川区の未来の姿

誰もが安心して自分らしく暮らせるまち。江戸川区はそんな共生社会を実現するため、2022(令和4)年4月に、2100年の未来を見据えた長期ビジョン「(仮称)江戸川区共生社会ビジョン」を作成します。

今回、みなさんから応募いただいた「江戸川区の明るい未来」は、この長期ビジョンを作る際に参考にさせていただきます。全ての欄に記入しなくても大丈夫です。もし意見をお寄せください。一緒に明るい未来をつくり上げていきましょう！

応募に当たっての注意事項

- ・応募していただいた書類や電子データなどは、返却しません。
- ・応募していただいた意見は今後、区の発行物やHPなどで公開する場合があります。その場合、区は応募者の承諾を得ずに無償で使用できるものとします。

あなたが考える2100年の江戸川区の「明るい未来」を、以下にご記入ください。

1. ひと言で表すと？

2. 具体的に言うと？

※イラスト等でも可。

3. 特に関係のあるテーマは？

- 私たちの生活 まちの景色 災害への備え

みんなのえどがわ 大会議

みんなで考えよう！ 2100年の江戸川区の姿

江戸川区は、2100年に向けて、区が進む方向を決めることも大切な計画を 作ろうとしています。

今回、この計画を大切に作るため、2100年の理想の江戸川区の姿を みんなと一緒に考えてみたいと思います。 題して「みんなのえどがわ大会議」。 みんなは、これからの江戸川区が、どんなまちになれるか、どんなまちか、ぜひ一緒に考えてみてください。

今の江戸川区は、こんなまち

- 小松菜発祥の地 収穫量は 都内ナンバー1
- 赤ちゃんや 子どもが多く 若いまち
- 全国で 最もインド人が 多いまち
- 介護される人の 割合が23区で 1番低いまち
- 公園総面積 23区ナンバー1
- 自然が いっぱい!
- 子育てが しやすい!
- 元気な高齢者 がたくさん!

2100年の江戸川区を考えよう

今日生まれた赤ちゃんが80歳になる頃のまの姿

現在、日本人の平均寿命は80歳以上。2100年には、今日生まれた赤ちゃんが80歳になる頃です。 遠いようで意外と近い。 2100年の江戸川区の姿を考えるため、 まずは「3つの推計データ」を 見てみましょう。

2100年を知るために データから 見てこう!

人口ってどうなっちゃうの?

お友だち 減ったり しないよね?

推計データによると、江戸川区の人口は、2020年から2025年にピークを迎え、その後緩やかに減り続けます。今日生まれた赤ちゃんが80歳になる2100年頃には、人口は現在の約3分の2にまで減ってしまいます。一方で、高齢者の割合は今よりも高くなり、外国人の人口も増え続けていくと予測されています。

江戸川区全体の将来人口の推移

年	人口(万人)
2020	70
2040	65
2060	60
2080	55
2100	45

外国人が増えている。2100年 には現在より、6人に1人が外国人 になるか、5人に1人が外国人 になると予想されています。

学校に例えると、 35人クラスが 22人になる感じ

25万人減/35%減

2

成り行きの2100年 江戸川区は どうなるの?

このままの未来で、いいのかな?

2100年、江戸川区の人口も もしこのままだと、 私たちの暮らしは一体どうなって しまうのでしょうか。 身近な3つのテーマを例に、 未来の姿を見てみましょう。

テーマ1 私たちの生活

人口が減ることで、江戸川区に住む 私たちの生活には、どんな影響がある のでしょうか?

子どもを取り巻く環境

- 子どもの数は約40%減り、定員に 空きができる保育園も。手当や補助 金なども、今と同じように続けること が難しくなります。
- 子育て
- 学校教育

高齢者を取り巻く環境

- 介護や医療を行う人が足りず、必要 な人にサービスを届けることができ なくなってしまう。
- 介護・医療
- カルチャーセンターやシルバー人材 センターを続けることが難しくなり、 趣味や仕事の機会が減ってしまいま す。
- 生きがい

大人を取り巻く環境

- 町会や自治会で活動する人が減り、 美化活動や防犯活動を続けていくこ とが難しくなります。
- 町会・自治会
- 区内の企業の数も大きく減少し、働 く場所が減ってしまうことで、まちの 活力も低下してしまいます。
- 区内企業

みんなが仲良く 暮らすためには?

障害の有無や国籍、性別などによっ て、生きづらさを感じている人たちが います。制度やみんなの意識が変わら なければ、この状況は解消されません。

どんな風に 変わっちゃうの... 不安だね。

4

テーマ2 まちの景色

みんなが使う公園や道路、施設にも、地域自慢のイベントにも、大きな影響が出るんです!

みんなの大好きなおまつりは?

花火大会や地域のおまつりも、江戸川区の人口が減ることにより、今と同じようにはできなくなります。

みんなが使う場所は?

公共施設

スポーツ施設やコミュニティ会館などの数を3分の2に減らさなければ、維持するお金が足りなくなります。

公園・道路

公園や道路の安全を守る人が減るため、公園では安全に遊べず、道にでこぼこがあってもすぐに直せなくなっています。

ごみの収集は大丈夫?

ごみ

清掃職員が少なくなり、日々のごみ収集作業がスムーズにできなくなってしまいます。

災害への備え

今後30年以内に高い確率で起こると言われている大地震。みんなの安全・安心は大丈夫?

気候変動で江戸川区にどんな影響が?

地球温暖化などの「気候変動」。このままだと2100年には今と比べて気温が2℃以上高くなり、南極などの氷が溶けて海水面上がったり、巨大台風が増えたりして、水害が大規模に。海抜ゼロメートル地帯の多い江戸川区は水浸しになる恐れもあります。

もしものときは、安心していいの?

避難所

学校が減るといった避難所の数が減るとのこと。避難所にとりつきのが大変になってしまいます。

みなさんの意見大募集

あなたが考える 2100年の「明るい未来」を教えてください!

人口や区のお金が減ってしまっても「明るい未来」はきっと実現できるはず。 2100年の江戸川区の「明るい未来」をひとりで具体的に言うと、それはどんな未来...? 目指すべき江戸川区の姿を、自由に想像してみてください。

日本一おせっかいなまち

僕なら、2100年の江戸川区は「日本一おせっかいなまち」として有名になっていると思うな! 仲間外れになっちゃう人なんて一人もいないし、地震や水害という大変なことがあった時には、力を合わせてみんなを守りたい。

進化し続ける最先端のまち

私は、これからの江戸川区には「最先端が似合うまち」になってほしいな。都心に近いのにこんなに自然がたくさんある場所は他にないと思うから、最先端の企業がどんどん集まってくると思うわ。 江戸川区で開発された「空飛ぶ車」が飛び回るそんなまちになるといいな。

どんなことで有名になっているのかな?

江戸川区に キャッチコピーをつけるとしたら?

まちの景色は どうなっ て いるだろう?